



## TEAM Red Bull MUGEN レースレポート

### 戦略とチームワークが功を奏して4位でフィニッシュ！

シリーズ名：2020 AUTOBACS SUPER GT Round 7

大会名：2020 AUTOBACS SUPER GT Round7 FUJIMAKI GROUP MOTEGI GT 300km RACE

距離：4.801km×63周（302.463km）

11月7日（土）天候：晴れ／路面：ドライ

11月8日（日）天候：晴れ／路面：ドライ

#### ■11月7日（土）

#### 公式予選：GT500クラス Q1：笹原選手 11位

もてぎは第4戦で3位表彰台を獲得した相性の良いコースです。今大会も当然表彰台を狙うべく準備をしてきました。シリーズ後半、低くなる気温を想定し持ち込んだ車体セットとタイヤがどれだけマッチングするかが結果に大きく影響します。

まずは土曜日の公式練習。車両のバランスはけっして良いとはいえないものの、2番手のタイムを出し、予選、決勝に向けて手応えは十分！今シーズン2度目の表彰台を狙うべく予選上位を狙います！



#### 【中野監督】

ここツインリンクもてぎは想定どおり気温が低くなり、新しいソフトコンパウンドのタイヤを用意してもらいました。

しかし、残念ながら低い路面温度でのグリップレベルの向上は見られませんでした。ミディアムコンパウンドで予選に臨むこととなり、路面温度が高くなってくれることを願いましたが、望んでいた路面温度まで上がらず、コーナーリンググリップのピークを出せませんでした。悔しい結果です。

ただポジティブな面もありました。最終戦の富士スピードウェイ向けタイヤを1セットテストした際、ヒデキがGT500クラス単独走行で2番手タイムを出したことです。これで次戦の構造は選択できました。我々のチームはヨコハマタイヤさん向け先行開発を率先して実施しています。

決勝は路面温度がもう少し上がることを願ってセッティングをアレンジし、ドライバー、エンジニア、メカニックの皆が最高のパフォーマンスで結果を残せるようにがんばります。応援宜しくお願いします。



### 【武藤選手】

土曜日は赤旗中断もあり、僕はあまりドライブする時間がありませんでした。そのような状況下で、次戦の富士スピードウェイ向けタイヤのテスト走行で 2 番手タイムを出せたことは、非常の前向きなニュースでした。車両の改善点も確認できました。決勝は恐らく僕がスタートを担当しますが、何とかポジションをひとつでも上げ、右京につなげたいと思います。がんばります。



### 【笹原選手】

朝の走行のスタートは僕が担当させて頂きました。新しいコンパウンドに期待していましたが、結果はよくなく、スタンダードなコンパウンドで予選に臨みました。

思いのほか路面温度が上がってくれず、タイヤのピークグリップが出ないまま終わってしまって悔しいです。いつも Q2 の武藤さんにつなげられていたので、本当に悔しく、申し訳ないです。

決勝に向け車体のセットも改善し、チーム一丸となって表彰台を目指します。応援、宜しくお願いします。

## ■ 11 月 8 日（日）決勝 : GT500 クラス 4 位

土曜日は、午前から路面コンディションがわずかに変化したことが影響して、満足できる結果を得られず悔しい予選でした。決勝の日曜日はチームが望む天候・路面になることが予想され、そうであればいい闘いができる自信は十分にあります！今シーズン 2 度目の表彰台を狙い、チーム一丸となって決勝に臨みます。



### 【中野監督】

11 番手からスタートしてフィニッシュの 4 位までのポジションアップはチームワークの成果でした。ドライバーふたりもタイヤライフぎりぎりまで猛プッシュできたし、ピットワークも練習の成果が発揮されました。レース前にいろいろなことを想定し、周りのピット状況を考慮し判断を下し成功しましたね。闘った感があり、満足です。

応援してくださった皆様、力をくださり、ありがとうございました。目指すところは当然ですが、もっと上位でのフィニッシュです。最終戦ではタイヤの開発、車のセットをさらに進め、全力で闘います。

Honda NSX-GT が 1~5 位まで独占しました。おめでとうございます。



### 【武藤選手】

決勝は、自分が思っていたよりも厳しい闘いでした。スタートを担当し、グリップ感がなくコーナリングでは滑っていましたが、なんとか踏ん張り、後半の右京にバトンを渡すことだけを考えて走り続けました。

セーフティーカー空けにプッシュし、1台抜いてからのピットインのタイミングは素晴らしかったです。ピットワークや右京のアウトラップも速かったし、4位にまで順位を上げることが出来たのはチーム皆なの素晴らしい仕事のお陰です。

次の富士スピードウェイでは、タイヤをセーブする心配をなくして、猛プッシュできるよう皆で話し合いレベルをさらに上げていきますよ。応援して下さったファンの皆様、関係協力会社の皆様、応援やサポートをしてくださりありがとうございました。

Honda がトップ 5 を独占したのはすごいことですね！僕たちもその仲間にいることができうれしいです。さらに上位のポジションでゴールするようにがんばります。ありがとうございました。



### 【笹原選手】



武藤さんからバトンが渡り、猛プッシュで走ったら、4番手になっていて驚きました。途中タイヤにピックアップが付いたのか、マシンコントロールが難しかったのですが、常にプッシュしていたら、100号車に追いついていたので、抜くことだけに集中しました。残り2周でイエローフラッグ区間が発生し、ギャップを空けられてしまい凄く悔しかったです。

予選のポジションを考えるとポジティブな順位だと思いますが、やはり悔しい思いもあります。後半は猛プッシュしやりきった感じです。兎に角チームワークが素晴らしかったです。

ここまで応援して下さった皆様の温かいコメントと後押しが力になりました。本当にありがとうございました。最終戦も全力でプッシュ出来るよう、皆で仕上げに掛かり満足いく結果を出します。引き続きの御支援・御協力を宜しくお願いいたします。

Red Bull 

MUGEN  POWER  




©Sho Tamura



©Sho Tamura

Red Bull



MUGEN **無限** POWER



©Sho Tamura



©Sho Tamura

Red Bull



MUGEN 無限 POWER



©Sho Tamura



©Sho Tamura